

国立大学アドミッションセンター連絡会議

20周年記念事業実行委員会・将来構想ワーキンググループ（第2回）議事メモ

日 時：令和5年12月15日（火）16時00分～16時38分

出席者：大谷奨教授（座長，筑波大学），池田文人教授（北海道大学），倉元直樹教授（東北大学），永田純一教授（広島大学），竹内正興教授（香川大学），西郡大教授（佐賀大学），宮本友弘教授（東北大学），久保沙織准教授（東北大学）

オブザーバー：佐藤喜一教授（九州大学）

陪 席：竹浪綾子事務補佐員（事務局：東北大学入試開発室）

議事メモ

（1）国立大学アドミッションセンター連絡会議会則について

会則の整理及び改定案について検討した。大谷座長が修正案及び新旧対応表を作成し，事務局へ提出する。

（2）事務局体制の簡素化について（審議）

- ・ 事務局業務の経変について議論した。
- ・ 事務局が担う一部業務を外注（業者委託）する可能性について，大谷座長からの提案があった。
- ・ 大谷座長が知り合いの業者を通じて相場を調査し，今後の検討資料とする。

（3）今後の事業について

大谷座長からの4項目の提案及び当日提案があった合計5項目について検討した。引続き検討事項とする。

- ・ ① 次回総会の運営は現在の事務局が担当，それ以外の提案の実施に当たっては別組織を検討。
- ・ ⑤ の「大学説明会の合同実施」は竹内委員からの提案，追加で検討した。
- ・ 会則の改訂・修正（案）にあたっては別組織の設定の可能性を反映する。

（4）繰越金について

今後の事業に合わせて支出見込みを踏まえながら，引続き検討事項とする。

（5）その他

国立大学アドミッションセンター連絡会議 HP「連絡会議からのお知らせ」に本 WG の開催報告及び議事録と資料を掲載する。

以上

将来構想 WG における検討事項

座長 大谷（筑波大学）

1. 会則の整理

幹事の選出方法、職務

- 選出方法：会長の委嘱→運営委員の承認を得て会長が委嘱
第 5 条第四号の改正
- 職務：明記せず→本会の運営に必要な事項を事務局長と協議
第 6 条に幹事の職務を追加

会計に関する規定について

- 必要性：取り扱う金額が大きくなっており、適切な処理と確認が必要（ただし組織の肥大化は避けたいため、当面幹事が確認作業を行う）
幹事の職務に追加

入退会手続きの明確化

- 入退会申し出の当事者：国立大学の機関→国立大学の機関の長または代表者
第 4 条第 3 項第 4 項の改正
- 入退会申し出の方法：規定なし→書面をもって（様式は任意、メールの場合は書面を添付）
第 4 条第 3 項第 4 項の改正

2. 事務局体制の簡素化について

多くの機関が事務局を引き受けることができるように、事務局の体制や業務をできるだけ簡素化したい

→ニュースの発送、会員名簿や会費納入状況の管理を委託できないか

3. 今後の事業について

- ① 総会の開催：オンライン
- ② 情報交換：オンラインで年一回程度、大学入試室との懇談会的な集会
- ③ 相談機能：広報、高大連携、高大接続、入試手法、学内調整、入試データ解析、追跡調査、等々の相談を受け付けるワーキンググループの設置
- ④ 調査研究：加盟大学から研究課題を募り、共同研究を実施

⑤ 大学説明会の合同実施

- ・①②は同日開催
- ・主に①②の内容を連絡会議ニュースに掲載
- ・事務局体制簡素化との関係から、③④⑤は事務局外部の組織が運営する

4. 繰越金について

- 事務局事務委託費用に充てる
- 今後の事業③④⑤に用いる
- 年会費の検討